

平成27年11月24日（火）

平成27年度生涯学習振興・社会教育関係職員等研修
【施策立案研修】個人演習発表

花咲か塾

わが町“今津”の魅力再発見

所属福山市今津公民館

名前 井田 直子

はじめに

□ 発表の趣旨

- 「花咲か塾」を通して、今津学区の情報発信を担う人材を育成支援し、まちづくり応援団の充実を図る取り組み。
- 参加者の皆さんの意欲を引き出すために大切にしていること。

□ 発表の流れ(目次)

- ① 花咲か塾とは？
- ② 住民目線の情報発信をめざそう
- ③ 今津お大師さん(八十八か所)を探せ！
- ④ 今年度の花咲か塾のまとめとして
ウォーキングマップの活用

取組の趣旨・ねらい

□ 地域の現状…花咲か塾とは？

- ・ 2012年から主催事業としてスタートした「花咲か塾」はまちづくりサロンの役割を担い、誰でも気軽に思いを出し合い情報交換や地域の課題を話し合う場として定着してきている。
- ・ 意欲ある人材の発掘・育成を目指し、まちづくり応援団として実践の場も用意し、まちづくり推進委員会との連携を取りながら運営していくことを目指す。
- ・ まちづくり応援団は公民館がコーディネーター役を担い、自主的な参加形態で地域のまちづくり活動を支えている。
- ・ 今年度は住民目線の魅力ある情報発信の担い手の育成を目指し、「今津の魅力再発見」をテーマに、子ども達や若い世代に郷土の文化・歴史を伝えることを目標とする。

実施体制



花咲か塾 月2回

公民館

まちづくり応援団

パソコンサークル

郷土史の会



**今津学区まちづくり推進委員会との連携により実施予定
世代間ウォーキング
～今津お大師さんを探せ！～**

対象者と目指したい姿

□ 対象者…「花咲か塾」参加者

年齢・性別・役職にとらわれず地域の為に何かしたいと思う意欲ある方

□ 目指したい姿

- ・ 参加者の意欲を引き出し、まちづくり活動への理解と共に、参加者の声や経験・特技を地域に還元していく。
- ・ 今年度は「わが町“今津”の魅力再発見」をテーマに地域での情報発信を担う人材育成を目指す。
- ・ 郷土の文化・歴史を、住民目線で、子ども達や若い世代に伝える。

住民目線の情報発信をめざそう

(1) ワークショップで方向性を決定

<今津の魅力は何か？>

“今津の魅力” 神社・仏閣・歴史・樹木・橋・風景・場所・行事・人物等々ある
誰もがわかりやすく、知ってるようで意外と知らない「へえ～！？」に注目する。

<情報発信とは？>

「どんなことができる？」「どんなことがしたい？」

- ①情報(今津の魅力)をわかりやすい形に…テーマ別マップ作り
- ②福山大学プロジェクトMとの交流でインターネットを活用した情報発信
フェイスブック・ブログ・ホームページ
- ③広報誌“まちづくりだより”の充実

今津お大師さんを探せ！

- (1) 参加者の総意で“今津お大師さんを探せ”にテーマを決定。
- (2) 参加者のホームワークとして、各自情報を集め、持ち寄る。
 札所番号・名称・場所・聞き取り調査・写真など
- (3) 各自持ち寄った情報を全員で共有するためにプロジェクターで映しながら確認しあい、情報交換する。
- (4) 参加者の思い・意見を共有し見える化するため、ホワイトボードミーティング形式で運営。
- (5) 現状をまとめる手段として、パソコンの得意なサークルを巻き込み、マップ作りに取り組む。
 - ① 現在の状況を今津全域地図と名称一覧にまとめる。
 ※別紙1， 別紙2
 - ② 地域への情報発信として一部地域をウォーキングマップとして作成。
 ※別紙3

花咲か塾 取組み風景



今年度の「花咲か塾」のまとめとして

- ① 完成したウォーキングマップを活用して「今津お大師さんを探せ！世代間ウォーキング」を実施することを提案する。
- ② 世代間ウォーキングの実施に向けて具体的な準備について考える中で次第に参加者の意欲的な役割分担が決まる。
マップ資料の修正／必要な資料を準備／順路の確認／先導・説明係
- ③ 実施時期・対象者など検討する中で、今年度のまちづくり行事としての実施は見送る。
- ④ 「公民館だより」で花咲か塾の参加者を募集しウォーキングを実施。
- ⑤ 実施後、気づき・感想を出し合い、来年度の学区まちづくり行事としての、世代間ウォーキングの実施につなげることを決める。

成果・効果

- ①住民目線の情報発信といった意味では、参加者自らが「お大師さん」に注目し、情報を集め、わかりやすい1枚のマップにまとめることができたことは参加者の自信となった。
- ②参加者の思いを自由に出し合い、思いを共有することを大切にホワイトボードミーティング形式で取り組み、公民館が、まとめ役・進行役として関わることで参加者の安心感につながった。
- ③得意分野を生かし取り組むことで、参加者の意欲と自主性が育った。
- ④「花咲か塾」を通して、地域への愛着と自主性を大切に、役職に縛られない自由な集まり“まちづくり応援団”のすそ野を広げていくことに繋がった。

今後の展望

「花咲か塾」での、まちづくり応援団の活躍を願って

- ①長期的な取り組みの中で今津の魅力を多方面から紹介し、いろいろな視点からのマップづくりに取り組む。
- ②まちづくり便りなどの紙面を使った広報誌の充実。
- ③映像を使ってスライドショーで紹介。
- ④インターネットを使ったまちづくり活動(イベント紹介・報告)などの情報発信。

今後も地域に求められる人材育成を目指して、まず参加者自身が楽しめる「花咲か塾」を目標に運営していく。